

不動産経済・新春 ホテルフォーラム

ーインバウンド 2 千万人の宿泊需要を狙えー

- ホテル業界の第一人者たちが解説する課題と実践
- ホテルの開発・オペレーション戦略
- ホテル投資動向と今後の見通し
- 観光立国と地方創生に寄与する地域ブランドづくりとは？
- ホテルビジネスが成功するためのポイントは？



<プログラム>

森トラストグループによるホテルデベロッパーとしての成長戦略
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ社長 伊達美和子氏

観光立国実現に向けた観光事業の高付加価値戦略と地域ブランドづくり
三菱総合研究所主席研究員／ツーリズム・アナリスト 宮崎 俊哉氏

続伸するインバウンド需要とホテル投資の現状と今後の見通し
ジョーンズラングラサル執行役員マネージングディレクター 沢柳 知彦氏

顧客ニーズから探るホテル事業の成功ポイント
日本ホテルアプレイザル取締役／ホテル格付研究所代表取締役所長 北村 剛史氏

日時 2016 年 1 月 26 日 火 13 時 00 分 ~ 16 時 35 分

会場 全日通霞が関ビル 8 階大会議室 (東京都千代田区霞が関 3-3-3)

主催 株式会社不動産経済研究所

後援 一般社団法人不動産協会、一般社団法人不動産流通経営協会
一般社団法人不動産証券化協会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会

不動産経済・新春 ホテルフォーラム

—インバウンド 2 千万人の宿泊需要を狙え—



講演時間 13:00 ~ 13:50



森トラストグループによる ホテルデベロッパーとしての成長戦略 ～ホテルリート組成に向けた取り組み～

講師

森トラスト株式会社 専務取締役
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社 代表取締役社長

だて みわ こ
伊達美和子 氏

総合コンサルティング会社勤務を経て、1998年に森トラスト株式会社入社。専務取締役として多数の不動産開発を統括する傍ら、株式会社万平ホテル会長として120周年記念事業、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社社長として京都嵐山の翠嵐ラグジュアリーコレクションホテル京都のオープン(2015年3月)といったプロジェクトを推進。そのほか、国際会議誘致、地域観光業促進や都市再生など、各業界のオピニオンリーダーとしても活躍。現在、国土交通省交通政策審議会観光分科会委員、一般社団法人東京ビルディング協会理事、一般社団法人日本ホテル協会理事、公益社団法人経済同友会幹事などを務めている。聖心女子大学卒業。慶應義塾大学大学院修了。

講演時間 13:55 ~ 14:45



続伸するインバウンド需要とホテル投資の 現状と今後の見通し

講師

ジョーンズラングラサル株式会社
ホテルズ&ホスピタリティグループ東京オフィス
執行役員マネージングディレクター

さわやなぎ ともひこ
沢柳 知彦 氏

1987年4月日本長期信用銀行入行。1999年5月グリニッチナットウエスト証券会社東京支店にて不動産ファイナンス担当ヴァイス・プレジデントに就任。ホテル投資を含む不動産投資、ファイナンスのアドバイザーおよび融資業務に従事。2000年6月ジョーンズラングラサルホテルズ&ホスピタリティグループ東京オフィスを開設、シニアヴァイスプレジデントに就任。2003年7月エグゼクティブヴァイスプレジデント就任。以後、賃貸住宅の運営契約を含むリッツカールトン東京プロジェクト、全日本空輸とインターコンチネンタルホテルズとのホテル運営会社JV組成等の企業提携支援業務に従事。2007年7月マネージングディレクター就任。現在、JLLホテルズ&ホスピタリティグループ東京オフィスマネージングディレクターとして、日本におけるホスピタリティアセット投資に係る業務(投資、資産価値査定、収益・資産価値極大化、資産売却、ホテルオペレーターとの契約締結、ホテルアセットマネジメント・プロパティマネジメント支援など)を統括。

趣 旨

アジア富裕層の拡大や円安効果、ビザの発給要件緩和などを背景にした訪日外国人観光客（インバウンド）の増加により、国内のホテル市場が活況を呈しています。2015年の訪日外国人観光客数は政府が2020年までの目標としている年間2000万人近くまで伸びており、2016年は確実に2000万人を突破する見通しです。インバウンド需要の拡大は2020年の東京オリンピック・パラリンピック以降も続くと思われており、不動産業界にとってもホテルの開発・運営やコンバージョンなどによる新規供給は新たなビジネスチャンスとして期待されます。

本フォーラムでは、ホテルの開発やオペレーターの戦略、ホテル投資の動向、観光事業の課題、ホテル事業が成功するポイントなどを探ります。皆様の業務にお役に立てれば幸いです。

講演時間 14:50 ~ 15:40



観光立国実現に向けた観光事業の高付加価値戦略と地域ブランドづくり

講師

株式会社三菱総合研究所／主席研究員チーフプロジェクト
マネージャー／ツーリズム・アナリスト／社会公共マネジメント研究本部／観光立国実現支援チーム チームリーダー

みやざき
宮崎

としや
俊哉 氏

1968年生まれ。1992年東京工業大学社会開発工学専攻修士課程修了、株式会社三菱総合研究所入社。国・地方の観光施策に関する調査研究業務に従事。2012年より現職。専門は観光統計の設計・分析、観光施策・事業のマネジメント。＜主な社外活動実績＞インバウンド研究会（代表：本保芳明 観光庁参与）起草委員会委員、プラチナ構想ネットワーク プラチナ・ツーリズム WG 企画委員、2014年度岐阜県海外戦略会議委員、大学生観光まちづくりコンテスト審査員（JTB主催・観光庁等共催、2011年～）。＜テレビ出演＞インバウンドの課題（2015年2月、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」）、訪日外国人旅行者の増加がもたらす国内への影響について（2014年6月、東海ラジオ「夕焼けナビ」）、中国人観光客の動き（春節）（2012年1月、NHK「おはよう日本」）、観光業界に与えるスライツリーの影響（2011年10月、テレビ朝日「報道ステーション」）など。

講演時間 15:45 ~ 16:35



顧客ニーズから探るホテル事業の成功ポイント

講師

日本ホテルアプレイザル取締役／ホテル格付
研究所代表取締役所長

きたむら
北村

たけし
剛史 氏

2000年谷澤総合鑑定所入所、産業再生機構に出向し店舗評価から事業デューデリジェンス、事業再生分野に参画。2006年谷澤総合鑑定所グループとして新設されたホテル旅館専門の不動産鑑定評価会社である日本ホテルアプレイザルの設立メンバーとして転籍しその後取締役に就任。2011年ホテル格付研究所を設立し、同社代表取締役社長に就任、ホテルおよび旅館の格付け基準に関する研究・開発に着手。2013年文部科学省「国立青少年教育施設の組織・制度の見直し等の基本調査」委員。2014年シンガポール Crescent Rating 社と提携、ムスリム旅行者向けホテル格付け（ハラルコンサルティング等）を提供。2015年HVS香港と戦略的提携契約を締結し海外ホテル案件処理体制を構築。現在は、日本ホテルアプレイザル取締役、専任不動産鑑定士。ホテル格付研究所所長。不動産鑑定士（日本）、MAI（米国不動産鑑定士）、MRICS（英国王室認定チャータードサーベイヤーズ）。慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント博士課程単位取得退学（現研究員）。

申込方法

本申込書を FAX または郵便等でお送り頂くと共に、お申込人数分の受講料を下記口座にお振込み下さい。

三井住友銀行 新宿通支店 普通 7100053
名義：(株)不動産経済研究所 カ)ト`ウ`ンサウイザ`イ`ンキョウソ

ご入金確認後、聴講券を郵送致します。

■注意事項

※請求書は発行致しません。領収証は振込書の控えをもって代えさせていただきます。
お振込手数料はお客様がご負担下さい。

※ご入金後や聴講券発行後のキャンセルはお受けできません。ご都合が悪くなった場合は代理の方のご出席をお願い致します。

※聴講券は当日必要になります。ご入金確認後の発行になりますので、受講料のお振り込みはお早めをお願い致します。

受講料 (資料代・消費税込 / 1名分)

一般：3万2400円

後援団体会員：2万9160円

※本セミナーの後援団体会員は上記の通り割引になります。申込書の「加盟団体」欄の該当する団体名を○でお囲み下さい。ご記入が無いと割引になりません。

申込締切

定員(150名)になり次第、締め切ります。

申込先

(株)不動産経済研究所 FAX. 03-3225-5330

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-15-9 さわだビル7階 (TEL.03-3225-5301)



■会場 全日通霞が関ビル 8階 大会議室

東京都千代田区霞が関 3-3-3

電話 03-3581-2261

■アクセス 虎ノ門駅 6番出口より徒歩 5分
霞ヶ関駅 A13番出口より徒歩 8分

参加申込書

《2016年1月26日(火)開催 不動産経済・新春ホテルフォーラム》

No.

フリガナ				
会社・団体名				
受講者名 複数でお申込みの場合は、1の方に聴講券を一括送付致します。	氏名	所属部課 または 肩書		
	1.			
	2.			
所在地	3.			
	〒	—		
	TEL :	FAX :		
加盟団体 (○でお囲み下さい)	不動協	FRK	ARES	ビル協
受講料振込日	月	日	振込済 ・ 振込予定	※聴講券はご入金確認後に郵送致しますので、必ずご記入下さい。